



余土地区まちづくり通信Vol114

令和2年8月1日発行

〒790-0044 松山市余戸東4-4-34

☎090-8979-4101

HP:www.yodo-machikyou-net

メールyodom4010@gmail.com

さくらねえねえず 「おはなし会」 開催

余土地区まちづくり協議会では、今年度新規事業として「さくらねえねえず『おはなし会』」を開催することとなり、第1回の「おはなし会」が7月18日（土）に開催されました。

当日は、エプロンシアターや大型紙芝居がありました。

「さくらねえねえず」は活動を始めて15年目になりますが、その名前の「さくら」は、全員「さくら小学校」で作られた「読み聞かせ会」のメンバーだったこと、そして「ねえねえず」は、沖縄の言葉の「ねえねえず＝おねえさんたち」からというのが由来だそうです。



《今後の開催予定》

第2回：10月17日（土） 第3回：12月19日（土） 第4回：1月16日（土） 第5回：3月20日（土）

※新型コロナウイルス感染状況により開催日程が変更する場合があります。日程変更については、「余土地区まちづくり協議会」のホームページにてお知らせいたします。HP：www.yodo-machikyou-net

まちづくり文庫

8月新刊のお知らせ



余土公民館図書室の「まちづくり文庫」に下記の図書を購入しましたのでご利用ください。余土公民館図書室は、毎週月曜日と金曜日の10時から12時に開館し本の貸出（貸出期間：2週間）を行っています。

図書名（著者名）	図書名（著者名）	図書名（著者名）
流浪の月（凧良ゆう）	わたしの美しい庭（凧良ゆう）	交渉力（橋下 徹）
ふしぎ駄菓子屋銭天堂①（廣島玲子）	ふしぎ駄菓子屋銭天堂②（廣島玲子）	ふしぎ駄菓子屋銭天堂③（廣島玲子）
明智光秀と近江丹波分国支配（福島克彦）	明智光秀の足跡をたどる旅（福島克彦）	いのちの停車場（南 杏子）
おそろしいよる（きむらゆういち）	ぼかりの木（こうだゆうこ）	みらいのえんそく（ジョン・ヘア）
なまえのないねこ（竹下文子）	1と7（二宮由紀子）	さよ十二歳の刺客（森川成美）
かんたん手づくりマスク（アズマカナコ）	家族じまい（桜木紫乃）	イナバさん！（野見山響子）
ちょこっとつまみ（共著）	1日10分のごほうび（共著）	1日10分のしあわせ（共著）
猫のお告げは樹の下で（青山美智子）	木曜日にはココア（青山美智子）	
いらっしゃいませ下町和菓子栗丸堂（似鳥航一）	コンビニたそがれ堂花時計（村山早紀）	

8月の新刊から ～書評紹介～

☆「流浪の月」☆（凧良ゆう 著）～2020年本屋大賞受賞作品～

あなたと共にいることを、世界中の誰もが反対し、批判するはずだ。わたしを心配するからこそ、誰もがわたしの話に耳を傾けないだろう。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。

《著者について》

2007年、長編「花嫁はマリッジブルー」で本格的デビュー。以降、各社でBL作品を精力的に刊行し、デビュー10周年を迎えた2017年には初の非BL作品『神様のビオトープ』を発表、作風を広げた。巧みな人物造形や展開の妙、そして心の動きを描く丁寧な筆致が印象的な実力派である。主な著作に『未完成』『真夜中クロニクル』『365+1』『美しい彼』『わたしの美しい庭』などがある。

☆「交渉力—結果が変わる伝え方・考え方—」☆ (橋下徹 著)

「交渉」というと難しく感じるかもしれないが、要は「話をまとめる力」だ。(中略)何か達成したい目標がある時、相手を説得し、対立する意見をまとめていく交渉力の有無が、結果を左右する。どんな職種・役職であれ、何かを成し遂げるために必須となるのが交渉力だ。—「はじめに」より—

38歳で大阪府知事、42歳で大阪市長となり、百戦錬磨の年上の部下たちをまとめ上げ、大阪の改革を断行した著者。その「実行力」の裏側にあったのは、弁護士時代から培われた、たぐいまれなる「交渉力」だった。同じ話し合いでも、伝え方や考え方を変えれば、結果はがらりと変わる。本書では、人を動かし、人に強くなるための「交渉思考」の極意を全公開。数々の修羅場をくぐりぬけてきた著者が「僕の30年の集大成」と言う本書。橋下徹が初めて明かす、超・実践的交渉術。

◆目次より抜粋◆

【第1章「最強の交渉術」とは？—交渉に勝つための原則を知る—】

実践的交渉では、「三つの手法」だけ知っておけばいい。

重要なのは「仮装の利益」というノウハウ。

部下と接するときには「獲得目標」を明確にする

絶対に知っておくべき「交渉の終わらせ方」の原則

【第2章 交渉は始まる前に9割決まる—修羅場から体得「橋下流交渉術」の極意】

●橋下流交渉術1—要望の整理とマトリックス—

たくさんの要望を二つのグループに分ける

会話から、相手の優先順位をつかむ

●橋下流交渉術2—譲歩のコツ—

譲歩のカードの切り方—まずは先行して譲歩する

一つでも多く譲ったように見せる—切り札は「仮装の利益」

●橋下流交渉術3—交渉に関する誤解

価値観や信条が合わなくても、交渉はまとめられる

小泉進次郎氏の国連総会でのスピーチは、なぜダメダメだったのか

●橋下流交渉術4—本当の交渉の名手がしていること

組織人ならまず確認すべきは「組織の優先順位」

自分の評判を大きく傷つける交渉とは

【第3章 要素に分解すれば、交渉は成功する—交渉の成否を決める分岐点】

お互いの一致点を広げ、不一致点を狭めていくテクニック



「余土の風景2」絵はがき 写真募集の締切迫る！！～花のある余土の風景～

余土地区まちづくり協議会では、「余土の魅力PR事業」の一環として「余土の風景～重信川と石手川の流れる町～」の絵はがきを作成しましたが、引き続き「余土の風景」パート2として下記のとおり余土地区にお住いの方からテーマに応じた写真を募集し、絵はがきを作成することになりましたので多数の応募をお願いします。

【目的】親元を離れている家族等への近況報告する絵はがき運動を進めたり、各団体の記念品用として、余土の風景を撮影した絵はがきを作成し、余土の魅力のPRに資する。

【応募要件】応募者が余土地区で撮影したオリジナルのカラー写真

【募集期間】令和2年4月1日～令和2年10月31日

【応募テーマ】「花のある余土の風景写真」

花(花の種類は問いません)が咲いている余土の風景を撮影した写真



【応募方法】データによる提出。提出方法は次の3通り

①写真データをUSBメモリ等で余土地区まちづくり協議会へ持参する方法

②余土地区まちづくり協議会へメール送付する方法

余土地区まちづくり協議会のメールアドレス yodom4010@gmail.com

③L判又はL2判でプリントしたもの

①②について、写真データが大きすぎると受信できないことがありますので、写真1枚につき、2MB程度以内の大きさにしてください。

送付の際、応募者氏名・住所・連絡先電話番号・メールアドレス、写真のタイトル、撮影場所、氏名公表の可否(匿名希望等)を記入してください。

【選考方法】応募のあった作品の中から優秀作品8点を広報広聴委員会で選考します。

【当選発表】入選者には、まちづくり協議会から入選の連絡をさせていただくとともに、絵はがき完成時に「余土の風景2」を進呈させていただきます。

【その他】応募写真は返却いたしません。採用作品の著作権は余土地区まちづくり協議会に帰属します。

第3回「Café de 盲天外」～開催案内～

「一粒米の会」（会長：森二郎さん）では、「ふるさと余土学」のミニ版の第3回「Café de 盲天外」を下記のとおり開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。会員以外の方の参加もご自由となっておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分講じて開催しますので、参加される方は「マスク着用」をお願いします。なお、新型コロナウイルス感染状況により「中止」する場合がありますので予めご承知ください。

日時 令和2年9月13日（日） 10：00～11：30

会場 余土公民館 2階 大会議室

内容 ① 相撲甚句「余土名所」 会員 岡本 純輝 氏

② 「人の為、世の為に尽くした森盲天外の多事多難、波乱に満ちた生涯」
- 《その2》 - （解説） 一粒米の会会長 森 二郎 氏



余土の史跡めぐり④

史跡「学校橋(がっこうはし)跡(あと)」

江戸時代から明治時代にかけて郡中方面から松山方面に行く人の多くが行き来していた安長渡しは、約30cmから60cmの一枚板をつなぎ合わせたという不完全な橋であった。そこで、大正2年（1913）余土村全地域の耕地整理が竣工したとき、道路の付け替え変更に伴って村費百円の補助をもって「学校橋」（木橋）が架設された。現在の市坪の児童は椿小学校に通学しているが、当時、市坪は余土村の一地区であったため、石手川を渡り、市坪から余戸にあった余土尋常小学校に通う子供たちが利用していた。しかし、大水などによって何度も流され、また、橋から落ちたり濁流にのまれて命をなくす子どもがいたため、大正12年（1923）に取り壊された。このため、別の場所に大正13年（1924）5月に余土橋（現市坪橋）が架設された。



史跡「出合の渡し(であいのわたし)跡(あと)」

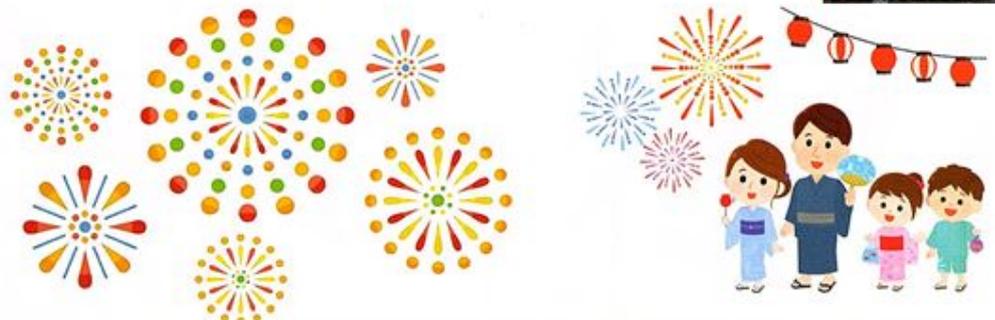
藩政時代、西堀端北の「札の辻」を起点に五街道の里程が示されていた。松山藩の五街道とは、金毘羅街道、土佐街道、大洲街道、今治街道、高浜街道で、このうち現在の松山西部と直接関係あるのは、大洲街道だけである。大洲街道は、明治44年（1911年）に木製の出合橋が出来るまで、重信川は渡し船による通行であり、出合には船着場が設置され、交通の要所となっていました。出合渡しの舟は、5、6人が定員といった感じの喫水の浅い高瀬舟で、水路には引き綱が渡っており、舟は綱をたどって行き来したと言われていました。重信川には河口から順に「塩屋の渡し」「北川原の渡し」「出合の渡し」「大間の渡し」「中川原の渡し」の5か所の渡しがありました。現在、「塩屋の渡し」跡には県道伊予松山港線に川口大橋、「出合の渡し」跡には県道松山松前伊予線の出合橋、「中川原の渡し」跡には県道松山伊予線の中川原橋が整備されています。



史跡 衆霊塔(しゅうれいとう) (余戸共葬墓地)

余土地区のお墓は、大正3年（1914年）に耕地整理が済むまで、民家の敷地内や空き地、道端等に散在していました。これらのお墓を、眺めの良い重信川の堤防下にまとめたのが余戸共葬墓地であり、明治45年（1912年）3月に森久治、鶴本多次郎、常宝院住職井上順精の三人が発起人となって、共葬墓地のほぼ中央に子供が絶えてお墓参りする人がいなくなり、無縁仏になったお墓を一か所に集めてお祭りする衆霊塔を建之して、現在まで守られています。

『「衆霊塔」けむりたえない共同墓地』（かるた「余土めぐり」より）



令和2年度 ふるさと学級 開催のご案内

毎年開催しています“ふるさと学級”を下記の日程で開催することとなりました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催が危ぶまれていましたが、発熱があるなど体調不良者や感染拡大地域への訪問歴があって14日間経過していない方の参加不可や会場での手指の消毒、参加者間の距離を保つ、定期的な換気、その他接触感染、飛沫感染防止対策等を講じての開催が可能となったことから、これら感染防止対策を講じて開催することにしましたので、新型コロナウイルス感染防止ご協力いただきご参加くださいますようご案内いたします。

なお、事前の申し込みは不要で、どなたでも、どの会場でも参加できます。(参加料無料)

テーマ	開催日	会場	講師
お薬のお話 <small>(薬やサプリメントの飲み方等)</small>	9月15日(火)	保免上分館	トマト薬局薬剤師
	9月16日(水)	余土公民館	
	10月13日(火)	市坪分館	
エンディングノートのお話	9月29日(火)	保免上分館	NPO 法人お金について学ぶ会 安部奈央 先生 <small>(1級ファイナンシャルプランニング技能士)</small>
	9月30日(水)	余土公民館	
	10月6日(火)	市坪分館	

※どの会場も午前10時から開講します。

※「お薬のお話」に参加される方で「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

第5ブロック公民館循環図書用8月新刊図書

第5ブロック公民館(余土・生石・味生・垣生)の図書室に置く 循環用の図書として下記の図書を購入しました。しばらくの間は、余土公民館図書室の「第5ブロック循環用図書コーナー」に置いてありますのでご利用ください。

図書名 (著者名)	図書名 (著者名)
えひめを歩こうウォーキングコースガイド (忠政啓文)	介護いらずの若返りのワザ (NHK 科学・環境番組部)
歩くだけでウイルス感染に勝てる! (長尾和宏)	人は話し方が9割 (永松茂久)
オクラ水で血流がよくなる! 痛みが消える! (一橋研一)	古布パッチワークの美しい世界 (学研プラス)
おやくそくえほん (高濱正伸)	命日占い (かげした真由子)
「繊細さん」の本 (武田友紀)	寿命図鑑 (やまぐちかおり)
親の介護がツラくなる前に知っておきたいこと (島影真奈美)	自分でできる子に育つほめ方叱り方 (島村華子)
syunkon カフェごはん7 (山本ゆり)	ねぐせのしくみ (ヨシタケシンスケ)
ストレスフリー超大全 (樺沢紫苑)	美しき小さな雑草の花図鑑 (多田多恵子)
1日10分でせいかいちずをおぼえる絵本 (やまかぜさぶろう)	1日10分でちずをおぼえる絵本 (やまかぜさぶろう)
ぜったいに おしちゃダメ? (ビル・コッター)	FACTFULNESS(ファクトフルネス) (ハロン・ロスリング)
10歳の君に贈る心を強くする26の言葉 (岩村太郎)	ねむれなかったらやってみて! (オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ)

